

松第 684 号
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 殿

松田町長 島村俊介



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記
のことについて、別紙のとおり回答いたします。

(事務連絡は、建設課 Tel0465-84-1332 担当 山口)

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

神奈川県松田町

人口減少化の時代を向かえ高齢化社会への移行と共に生産人口は減少し、自治体の住民税をはじめとする税収も高度成長期やバブル期までは増加傾向にありましたが、現在は福祉や介護費などの急増により基盤整備事業に充当できる予算は減少の一途を辿っております。

このように基盤整備予算の減少傾向が顕著となっている財政状況の中で、道路建設事業等の社会ストックを増加させるためには、どの道路を優先的に整備すべきか、また、どの道路を重点的に整備すべきかを明確にし、国民に事業の必要性について十分な説明をすべきと考えます。

また、道路財源の一般財源化により道路建設は更新投資に十分な予算を投入することが難しくなっており、今までの社会ストックの標準的な耐用年数を如何に長く維持できるかを考え、既存社会ストックの長寿命化に向け維持管理の充実を図るべきと考えます。今後の道路行政については、補修費の確保が今以上に必要になると考えます。

安全・安心なまちづくりを考えると、日本の大動脈であり予測されている東海地震等の災害時の代替ルートとして第2東名高速道路等の広域幹線道路ネットワークの構築は、早期供用に向け積極的に整備促進を図るべきと考えます。

また、生活幹線ネットワーク道路として、インターチェンジから地域へのアクセス道路の整備が必要であり、中山間地域の隣接する町村間住民の相互交流を活性化し、定住化を促進するための生活に密着した道路整備を積極的に進める必要があります。

②－１ 地域の現状と抱える課題

神奈川県松田町

○現状

- 神奈川県西北部に位置する松田町は、東名高速道路のほか、国道、県道が町内を縦横に貫通しており、交通量の割合に対し、幅員が狭小な道路が多く市街地内で交通渋滞が発生しやすい状況となっています。
- さらに国県町道相互の連絡強化や、主要施設へ連絡する地区幹線道路の機能強化が必要とされています。
- 寄地区への幹線道路は、急斜面の山間地を通過している県道 710 号（神縄神山線）の 1 路線のため、災害時には土砂災害などにより通行できなくなり、孤立化することが懸念されています。

○課題

- 秦野境には、第 2 東名高速道路・国道 246 号バイパスに伴う秦野西インターチェンジが予定されていますが、国道 246 号が慢性的な交通渋滞となっている現在、交通渋滞緩和のため、関連する国道 246 号バイパスの延伸および現東名高速道路へのアクセス道路について、整備計画の策定・具体化が望まれています。
- 町道を中心とした生活道路については、線形や幅員、舗装等を整備する問題が、山積しています。特に一部の町道は幅員が狭いことから、今後、計画的な道路改良を行っていく必要がありますが用地の取得、財源の確保など道路行政の推進には諸処の課題と悩みを抱えています。
- 県道はバス路線や通勤・通学路となっているため、交通の円滑化や安全性を確保し災害時の幹線連絡道として防災対策をする必要があります、併せて、秦野市に通じる道路を早期に新設するよう県に要望する必要があります。

②－２ 地域の目指すべき将来像

神奈川県松田町

第２ 東名高速道路・国道２４６号バイパス（厚木秦野道路）に伴う関連道路網計画の早期確立を国に対して要望し、広域交通体系の向上に努めます。

また、県道は交通の円滑化や安全性を確保するため、新設・拡幅・線形改良・歩道設置などを県に要望します。

町道は、地域特性を考慮して幹線道路、連絡道路などの機能強化を図り、また、環境に配慮した整備を行います。橋梁についても、保守・点検・維持管理に努めます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

神奈川県松田町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
① 第2東名高速自動車道および国道246号バイパスに伴う関連道路網計画確立の要望	① 第2東名自動車道および国道246号バイパス計画に伴い、秦野西インターチェンジ(仮称)以西の円滑な交通確保のため、延伸計画および大井松田インターチェンジへの連絡道路の計画を早急に確立するよう関係機関に要望します。	① 国道246号の慢性的な渋滞の解消	
② 県道の新設・改良促進の要望	② 県道710号(神縄神山線)および711号(小田原松田線)を中心に、線形改良・道路拡幅・歩道設置などを県に要望します。 また、寄地区から秦野市に通じる道路を早期に新設するよう県に要望します。	② 交通の円滑化および災害時のバイパス輸送道路の確保	
③ 町道の整備促進	③ 幅員が狭小な道路の拡幅などに努めると共に道路維持管理の充実を図り、安全性・利便性を備えた道路の整備を推進します。 また、美観、緑地などに配慮した環境整備を検討します。	③ 緊急車両の通行の障害となる箇所を解消するなどの交通の円滑化	